

令和2年度

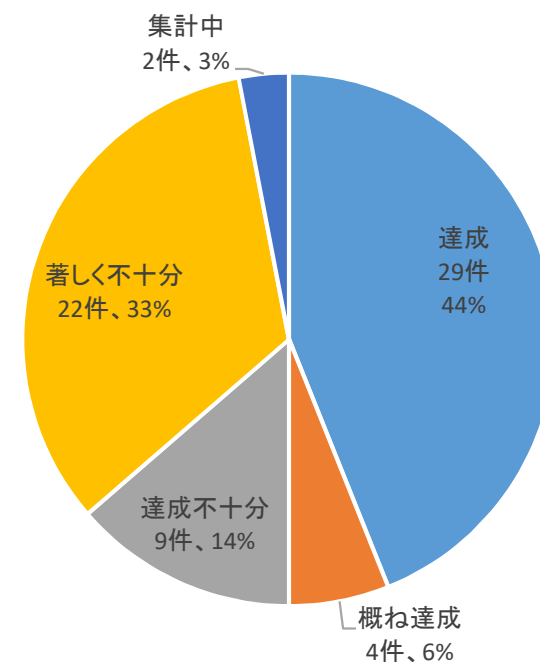
地方創生推進交付金/拠点整備交付金 事業実施結果報告

地方版総合戦略に基づく地方公共団体の自主的・主体的で先導的な取組を、内閣府が地方創生推進交付金／拠点整備交付金により支援(負担率1／2)している。

事業はKPIの設定とPDCAサイクルを組み込むことにより、効果的かつ効率的に執行することとなっている。令和2年度に実施した事業の実施結果は以下のとおり。

■分野毎の事業数/指標数と評価指標達成状況

分野	事業数	指標数	達成 (実績/目標が 100%以上)	概ね 達成 (実績/目標が 100%未満70%以上)	達成 不十分 (実績/目標が 70%未満50%以上)	著しく 不十分 (実績/目標 が50%未満)	集計中
①しごと 創生	11	37	15	3	7	12	0
②地方へ の人の 流れ	5	18	7	1	2	6	2
③働き方 改革	1	3	3	0	0	0	0
④まち づくり	3	8	4	0	0	4	0
合計	20	66	29	4	9	22	2

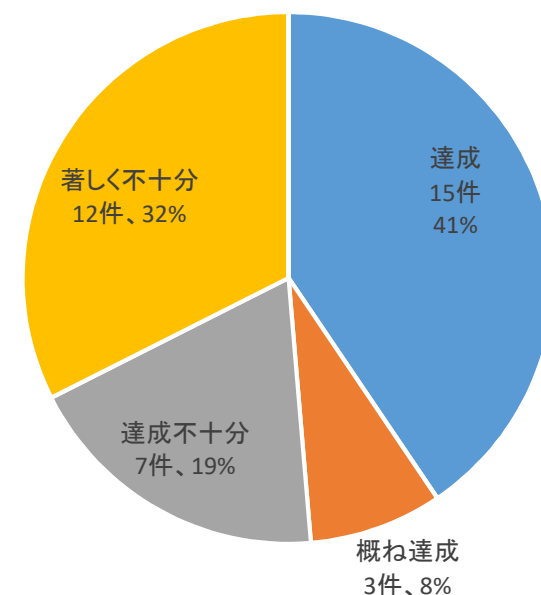


評価指標の達成状況
(全66指標)

事業実施結果①しごと創生（総合戦略基本目標Ⅱへ寄与）

1. 事業概要と評価指標達成状況

事業名	事業概要	主な評価指標（基準値に対する増減）
創造県おおいたクリエイティブ産業チャレンジ事業	おおいたスタートアップセンターやクリエイティブプラットフォームにより起業家等への支援を行った。	創業による就業者数(人) 目標5,910⇒実績6,532
おんせん県おおいた県域版DMOを核とした観光振興事業	(公社)ツーリズムおおいたの県域版DMOとしての機能強化や国内・海外客への情報発信等を行った。	県内延べ宿泊者数(千人泊) 目標658⇒実績1,992
大分県版第4次産業革命(OITA4.0)推進事業	IoTやドローンなどを活用した先駆的な取組の促進を行った。	プロジェクト事業化件数(件) 目標47⇒実績52
原木のカスケード利用に向けた流通構造改革事業	原木の中間集積地整備等を行った。	中間集積地を介した原木の販売額(千円) 目標450,000⇒実績296,170
生産性向上・多様な人材確保推進事業	各産業における生産性向上や人材確保のための取組を支援した。	若年新規求職者の内の就職者数(人) 目標1,400⇒実績1,415
戦略魚種生産性向上実証支援事業	クロマグロやブリ、ヒラメの安定した養殖体制の確立に向けた実証実験等を行った。	新技術による養殖マグロ・ブリ類・ヒラメ生産量(トン) 目標180⇒実績94
遠隔操作ロボット「アバター」の社会実装・産業創出プロジェクト	「アバター」の社会実装による地域課題の解決及び本県の経済を牽引する新たな産業の育成を行った。	アバターの社会実装件数(件) 目標2⇒実績4
第一次産業の魅力向上対策事業	本県の地域特性を活かした農林水産業を魅力ある成長産業とするための支援を行った。	「ベリーツ」(いちご)販売量の増量(トン) 目標50⇒実績72



評価指標の達成状況
(全37指標)

事業実施結果①しごと創生（総合戦略基本目標Ⅱへ寄与）

1. 事業概要と評価指標達成状況

事業名	事業概要	主な評価指標（基準値に対する増減）
クリエイティブ産業創出拠点整備計画（H29年度ハード事業）	将来のクリエイティブ人材の育成を図るため、県立芸術文化短期大学の産学官連携共同研究棟（芸術デザイン棟）を整備した。	芸術関係地場企業への就職者数（人） 目標30⇒実績10
先端技術イノベーション拠点整備計画（H29年度ハード事業）	ドローン等の先端産業育成のため、県産業科学技術センターに、「先端技術イノベーションラボDs-Labo」を整備した。	県内で製造するドローンの売上（億円） 目標24⇒実績7
水産研究施設2拠点化による県内水産産業の疾病対策強化計画（H30年度ハード事業）	水産研究施設を県南、県北の2拠点化し、生産現場で発生する疾病診断を迅速に行える施設を整備した。	クルマエビ、カキ類等養殖業の生産額の向上（百万円） 目標71⇒実績93

2. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の方針

IoT、AI、ロボット、ドローン等の先端技術の普及や少子高齢化・人口減少による国内需要の変容、消費者ニーズの変化、多様な生き方や働き方の価値観の広がり、さらには新型コロナウイルス感染症の影響などにより、中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は大きく変化している。引き続き、事業者寄り添った伴走型支援や関係機関との連携を促進し、事業者をサポートしていく必要がある。

大分県IoT推進ラボによるプロジェクトの認定や、有望なプロジェクトに対する補助、5Gを活用した実証実験等を通じて、先端技術を活用した地域課題解決型プロジェクトの創出を図るとともに、先端技術挑戦フォーラム等により、県内企業の先端技術へのさらなる理解の向上や機運の醸成を図ることで、大分県版第4次産業革命“OITA4.0”を推進する必要がある。

観光分野においては、近年頻発する自然災害や新型コロナウイルスの流行により冷え込みが続いている。このような中、コロナ収束後を見据えて、本県の魅力発信を継続して行うほか、特定国に依存しない誘客を進めるため、東アジアをはじめ、ASEAN諸国等からの観光誘客の推進や多様化する旅行ニーズに対応し、ターゲットを絞った観光メニューの開発等が求められている。

農林水産業においては、マーケットインの商品づくりを目指し、県オリジナルいちご「ベリーツ」や「おおいた和牛」、「うまみだけ」、「かぼすブリ」などのブランド産品を育成・推進してきた。

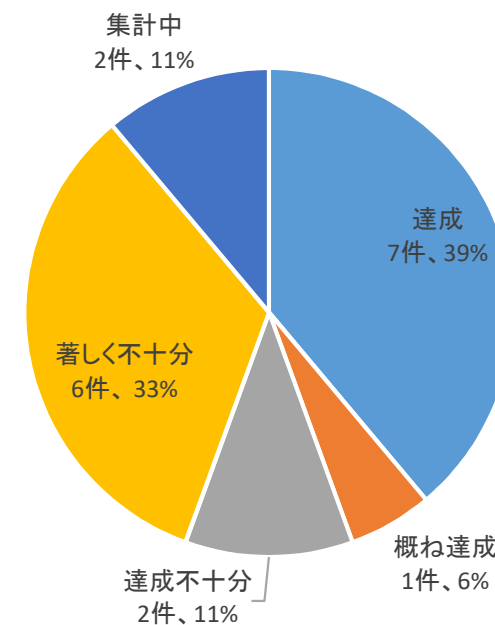
これらの取組により、R2年の農業産出額は、1,208億円（前年から13億円の増）となった。

今後も農業総合戦略会議等により、生産者と農協が真剣に生産力強化に取り組む本来の体制を確立し、これに県の施策を連動させることで、関係者が一体となった産地の育成に取り組む。

事業実施結果 ②地方への人の流れ(総合戦略基本目標Ⅰ,Ⅲへ寄与)

1. 事業概要と評価指標達成状況

事業名	事業概要	主な評価指標(基準値に対する増減)
移住・定住強化推進事業	首都圏での移住相談会の開催や若年層向け企業説明会等を行った。	施策を活用した移住者数(人) 目標946⇒実績833
ASEAN人材育成拠点構築事業	日本語パートナーズ事業に係る研修の本県での実施支援や、留学生の起業・就職支援等を行った。	ASEANからの留学生増加による経済波及効果(百万円) 目標1,243⇒実績26
健康寿命日本一おおいた推進事業	健康アプリ「おおいた歩得」等により県民の健康づくりを推進した。	メタボリックシンドローム予備群・該当者の割合の減少(%) 目標-1.46⇒実績+1.1
プロフェッショナル人材活用深化・高度化事業	高度なスキルを持つ外部人材と県内企業のマッチングを関係機関と連携して行い、人材確保を支援した。	県内企業の経営課題に関する相談件数(件) 目標60⇒実績107
大分拠点施設(福岡市中心部)整備による福岡県在住若年者に対するUIJターン対策強化計画(R1年度ハード事業)	大分県出身の学生等へ県内企業の魅力を発信するために福岡市に「dot.」を整備し、若者の大分県内就職イベント等を行った。	福岡県内大学等から拠点を通じて県内へ就職した人数(人) 目標25⇒実績17



2. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の方針

R2年の国勢調査では大分県の人口は1,123,852人でH27年の前回調査に比べ△42,486人で平成以降最大の落ち込みとなっており、特に、福岡県への転出超過が顕著である。こうした厳しい状況の中で、移住支援策の充実などに取組んだ結果、R2年度の移住者数は過去最高の1,287人となり、4年連続で1,000人を超えた。

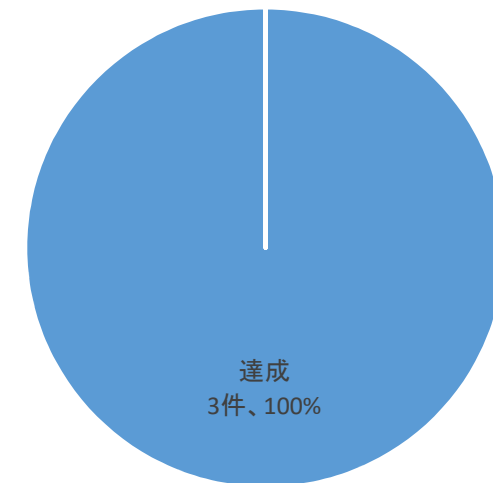
引き続き、県外に移住コンシェルジュや移住サポーターを配置し、移住相談会を毎月開催するとともに、移住専門誌やウェブにより先輩移住者を紹介し、移住者の仕事確保のための技術習得支援なども行うことで、さらなるUIJターンの促進のための取り組みの強化が必要である。

また、コロナ禍を契機としたリモートワークの普及拡大などの新しい生活様式の広がりや、人々が都市から地方に目を向けるきっかけとなっており、この動きをUIJターンに結びつけることが重要である。オフィス系企業やサテライトオフィスの誘致、地域の情報通信格差の是正やワーキングスペースの確保など、移住の受け皿となる仕事づくりや環境整備に加え、大分県拠点施設「dot.」を活用した福岡在住の若者の県内就職イベントの開催等の取り組みをさらに推進していく必要がある。

事業実施結果 ③働き方改革(総合戦略基本目標Ⅰへ寄与)

1. 事業概要と評価指標達成状況

事業名	事業概要	主な評価指標 <small>(基準値に対する増減)</small>
女性が輝く働き方改革実現事業	固定的性別役割分担意識の変革及び女性の継続就労が可能となる働き方を実現するために、女性が存分に活躍できる環境づくりの支援を行った。	県の施策による女性の年間新規就業者数(人) 目標300⇒実績372



評価指標の達成状況
(全3指標)

2. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の方針

人口減少が進む中、女性の社会参画が一層求められている。女性の就業率は全体的に上昇しているが、第1子出産を機に女性の約半数が退職するほか、介護や看護で離職・転職する人が毎年約10万人おり、その約8割が女性であるなど、出産、子育て、介護等を理由に就業を中断する女性が依然として多い状況がある。

その要因として、「男は仕事、女は家庭」という意識が根強く存在し、夫の育児・家事の負担が格段に少なく、妻に負担が偏っていることが考えられる。また、税制や組織のあり方は、専業主婦世帯をモデルにした例が多く、社会情勢の変化に応じ、働き方の見直しも含め、対応していく必要がある。

そのため、社会のあらゆる場面において、固定的性別役割分担意識の解消を引き続き図りつつ、女性の継続就労が可能となる働き方の導入や、働きやすい職場環境の整備に加え、男性の子育てや家事等への積極的な参画促進に取り組む必要がある。

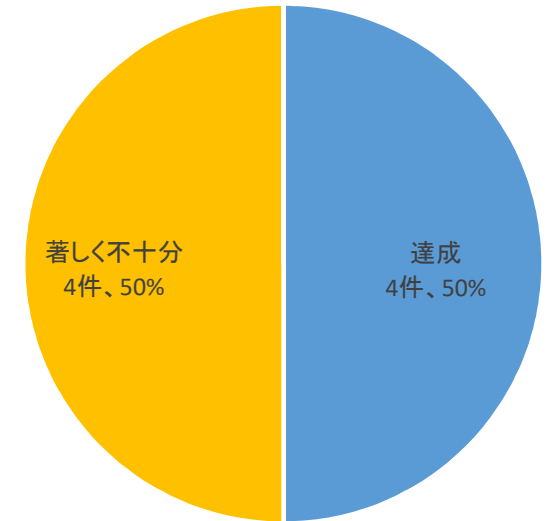
また、民間企業等における管理職に占める女性の割合を上昇させるためには、女性の管理職候補や女性管理職のロールモデルを発信していくとともに、スキルアップをしたい女性への支援も必要である。

本年3月に策定した「第5次おおいた男女共同参画プラン」及び「女性が輝くおおいたアクションプラン2021」に基づき、各種取り組みを着実に実行していく必要がある。

事業実施結果 ④まちづくり(総合戦略基本目標Ⅱ、Ⅲへ寄与)

1. 事業概要と評価指標達成状況

事業名	事業概要	主な評価指標(基準値に対する増減)
くらしの和づくり・仕事づくり応援事業	住み慣れた地域に住み続けたいという住民の希望をかなえるため、ネットワーク・コミュニティの構築等を推進した。	ネットワーク化の希望を叶えた集落数(集落) 目標1,405⇒実績1,411
スポーツと芸術文化を活用した地域活性化事業	交流人口の拡大や地域活性化を狙い、スポーツと芸術文化の活動を支援した。	スポーツ合宿等受入人数(人) 目標6,000⇒実績-36,406
はちまんの郷からはじまる歴史探訪学びプロジェクト	大分県立歴史博物館において、歴史・文化の魅力を発信した。	宇佐学講座等の地域学習会の参加者数(人) 目標300⇒実績-300



評価指標の達成状況
(全8指標)

2. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の方針

新型コロナウイルスの影響による休館や開館時間の短縮など利用制限、イベントの中止により、目標値を達成できなかった項目が多い。一方、新型コロナウイルス感染症や相次ぐ大規模災害の経験により、家族の絆や地域の結びつきの重要性が再認識されることとなった。感染拡大によって休止・縮小されている地域の支え合い活動等が継続できるよう支援するなど、コロナ禍においても地域共生社会の実現に向けた取り組みを前進させていく必要がある。

また、県民誰もが質の高い多彩な芸術文化に触れる機会を確保するとともに、芸術文化活動に取り組むことのできる環境整備の充実が求められるが、コロナ禍により、特に芸術文化に触れる機会が著しく減っていることから、デジタル手法の活用などが必要である。

県立美術館を中核とし、県内各地域の文化施設や観光地を往来・循環しながら、地域文化や歴史等を体験するカルチャーツーリズムの推進に向けた取り組みがR2年度から始まり、今後の展開が期待される。

今後は、新型コロナウイルスの感染症対策を行いつつ、各種の取組をバランスよく実施する。

補足 評価指標一覧 ①しごとと創生(1/2) (目標値と実績値は評価指標の基準値に対する増減)

事業名	評価指標	単位	目標値	実績値	実/目	達成状況
創造県おおいた クリエイティブ産業チャレンジ事業	創業による就業者数	人	5,910	6,532	111%	達成
	創造的人材と企業の連携による商品等の事業化件数	件	48	64	133%	達成
	大分市及び日田市内の創業支援機関等による創業者数	人	640	602	94%	概ね達成
	地元クリエイター等と企業の連携による事業化件数	件	14	12	86%	概ね達成
おんせん県おおいた県域版 DMOを核とした観光振興事業	県内延べ宿泊者数	千人	658	-1,992	-303%	著しく不十分
	県内観光入込客数	千人	6,196	-3,268	-53%	著しく不十分
	県内外国人延べ宿泊者数	千人	108	-1,280	-1185%	著しく不十分
	県内観光消費額	億円	389	-628	-161%	著しく不十分
大分県版第4次産業革命 (OITA4.0)推進事業	プロジェクト事業化件数	件	47	52	111%	達成
	IoT事業マッチング件数	件	52	82	158%	達成
	県内ドローン製造・サービス売上	億円	30	18	61%	達成不十分
	高度な産業人材及び新産業分野での人材確保	人	56	60	107%	達成
原木のカスケード利用に向けた 流通構造改革事業	中間集積地を介した原木の販売額	千円	450,000	296,170	66%	達成不十分
	中間集積地に原木供給する事業者数	者	30	26	87%	概ね達成
	原木取扱い者向け研修会参加人数	人	60	31	52%	達成不十分
	展示会成約件数	件	30	20	67%	達成不十分
生産性向上・多様な 人材確保推進事業	若年新規求職者の内の就職者数	人	1,400	1,415	101%	達成
	HACCP導入事業者数	事業者	3,500	14,804	423%	達成
	新規採用バス乗務員数	人	14	0	0%	著しく不十分
	外国人労働者(専門的・技術的分野)の増加人数	人	500	284	57%	達成不十分
戦略魚種生産性向上実証支援事 業	新技術を活用した養殖マグロ・ブリ類・ヒラメ生産量	トン	180	94	52%	達成不十分
	新技術を活用した水産養殖経営体数	戸	15	6	40%	著しく不十分

補足 評価指標一覧 ①しごとと創生^(2/2)

事業名	評価指標	単位	目標値	実績値	実/目	達成状況
遠隔操作ロボット「アバター」の社会実装・産業創出プロジェクト	アバターの社会実装件数	件	2	4	200%	達成
	アバターを活用した教育活動実施学校数	校	6	15	250%	達成
	アバター産業創出塾への参加企業数	社	10	29	290%	達成
	アバター関連実証事業実施件数	件	6	18	300%	達成
第一次産業の魅力向上対策事業	農業産出増加額	億円	90	13	14%	著しく不十分
	「ベリーツ」(いちご)販売量の増量	トン	50	72	144%	達成
	畜産インターンシップ参加累計人数	人	5	3	60%	達成不十分
クリエイティブ産業創出拠点整備計画(H29年度ハード事業)	芸術関係地場企業への就職者数	人	30	-10	-33%	著しく不十分
	商品(デザイン)開発数	件	20	3	15%	著しく不十分
	地場企業へのインターンシップ数	人	100	-100	-100%	著しく不十分
先端技術イノベーション拠点整備計画(H29年度ハード事業)	県内で製造するドローンの売上	億円	24	7	31%	著しく不十分
	県内企業の電磁応用機器関係受注額や製品売上げ	億円	8	26	346%	達成
	高度な産業人材や新産業分野での人材確保	人	55	55	100%	達成
水産研究施設2拠点化による県内水産業の疾病対策強化計画(H30年度ハード事業)	クルマエビ、カキ類等養殖業の生産額の向上	百万円	71	-93	-132%	著しく不十分
	干潟養殖カキの出荷個数	千個	20	193	964%	達成

補足 評価指標一覧 ②地方への人の流れ

事業名	評価指標	単位	目標値	実績値	実/目	達成状況
移住・定住強化推進事業	移住施策を活用した移住者数	人	946	833	88%	概ね達成
	農林水産業への新規就業者数	人	91	106	116%	達成
	おおいた産業人財センターを活用したUIJターン就職者数	人	71	-29	-41%	著しく不十分
	福岡市中心部の拠点施設開催イベント参加者数	人	500	1,172	234%	達成
ASEAN人材育成拠点構築事業	ASEANからの留学生増加による経済波及効果	千円	1,243,200	26,640	2%	著しく不十分
	留学生の県内就職者数	人	200	-	-	集計中
	留学生県内起業者数	人	50	-	-	集計中
	外国人労働者の単年度増加数	人	800	223	28%	著しく不十分
健康寿命日本一 おおいた推進事業	メタボリックシンドローム予備群・該当者の割合の減少	%	-1.46	1.10	-75%	著しく不十分
	糖尿病予備軍の割合の減少	%	-0.50	0.20	-40%	著しく不十分
	健康アプリの利用者数の増加	人	27,000	48,712	180%	達成
	睡眠で休養が十分とれていると回答する割合の増加	%	3.2	0.0	0%	著しく不十分
プロフェッショナル人材活用深化・ 高度化事業	県内企業の経営課題に関する相談件数	件	60	107	178%	達成
	地域経済牽引事業に係る大分県基本計画に基づき事業計画の承認を得た企業への巡回支援件数	件	10	26	260%	達成
	県内企業に対する副業・兼業を含めた人材マッチング件数	件	20	45	225%	達成
大分拠点施設(福岡市中心部)整備による福岡県在住若年者に対するUIJターン対策強化計画(R1年度ハード事業)	福岡県内大学等から拠点を通じて県内へ就職した人数	人	25	17	68%	達成不十分
	拠点施設の利用人数	人	1,800	27,090	1505%	達成
	拠点施設における就職セミナー開催件数	件	180	116	64%	達成不十分

補足 評価指標一覧 ③働き方改革

事業名	評価指標	単位	目標値	実績値	実/目	達成状況
女性が輝く働き方改革実現事業	県の施策による女性の年間新規就業者数	人	300	372	124%	達成
	大分県女性農業経営士認定者数	人	15	17	113%	達成
	おおいた子育て応援団「しごと子育てサポート企業」認証企業数	社	70	101	144%	達成

補足 評価指標一覧 ④まちづくり

事業名	評価指標	単位	目標値	実績値	実/目	達成状況
くらしの和づくり・仕事づくり 応援事業	直売所の付加価値創出額	百万円	232	93	40%	著しく不十分
	鳥獣被害金額※減少額	百万円	-60	-105	175%	達成
	ネットワーク化の希望を叶えた集落数(集落)	集落	1,405	1,411	100%	達成
	福祉事業所の施設外就労(農業)延べ件数	件	12	13	108%	達成
スポーツと芸術文化を活用した地 域活性化事業	スポーツ合宿等受入人数	人	6,000	-36,406	-607%	著しく不十分
	カルチャーツーリズム等参加人数	人	50	60	120%	達成
	パラスポーツイベント参加者数	人	2,100	0	0%	著しく不十分
はちまんの郷からはじまる 歴史探訪学びプロジェクト	宇佐学講座等の地域学習会の参加者数	人	300	-300	-100%	著しく不十分